

## 前回会議での指摘事項への回答

### 目 次

1. BSL-4 施設の建設までの主な工程について..... 1
2. バイオセーフティ管理監について ..... 3
3. これまでのリスクアセスメント等に基づく対応について ..... 7



## BSL-4 施設の建設までの主な工程について

(これまでお配りしていた工程を更新したもの)

BSL-4 施設整備に関して、現時点で想定される最速の工程は以下の通りです。今後も地域の皆様に計画や安全対策の概要等についてご説明をしながら、計画を進めていきたいと考えております。

2018（平成 30）年

8月9日～10月19日

建築予定地の樹木伐採

8月21日

建築物に関する周辺住民説明会（中高層建築物等の建築紛争の予防に関する条例）

建設工事公告

10月中

建築基準法に基づく建築計画通知（確認申請）

早ければ12月21日

建設着工予定

（工事は2021年度まで）



## バイオセーフティ管理監について

### 略 歴（平成 30 年 10 月 1 日時点）

氏 名：有川 二郎

生年月日：昭和 28 年 4 月 24 日（65 歳）



#### 学歴・職歴：

昭和 48 年 4 月 北海道大学理科 2 類入学

昭和 52 年 3 月 北海道大学獣医学部卒業

昭和 52 年 4 月 東北大学研究生（医学部細菌学教室）

昭和 56 年 4 月 北海道大学獣医学部獣医公衆衛生学講座助手

平成 2 年 1 月 北海道大学免疫科学研究所附属免疫動物実験施設助教授

平成 7 年 1 月 北海道大学医学部附属動物実験施設教授

平成 19 年 4 月 北海道大学大学院医学研究院微生物学免疫学講座病原微生物学教室教授

平成 29 年 3 月 北海道大学定年退職

平成 29 年 4 月 北海道大学大学院医学研究院特任教授

平成 29 年 6 月 北海道大学名誉教授

#### 現在の教育研究内容（北海道大学 HP より）：

げっ歯類を自然宿主として人に重篤な出血熱を引き起こす、ハンタウイルス感染症（腎症候性出血熱とハンタウイルス肺症候群）について研究を行っている。本症は、げっ歯類媒介性の人獣共通感染症の代表と位置づけられ、感染症法において、患者の届出が必要な四類感染症に指定されている。これまで、多数のハンタウイルスの遺伝子をクローニングし、その発現蛋白を用いてウイルスの構造と機能の解析、また、マウスを用いた感染モデルの解析から発症メカニズムを解析し、特に病原性との関連について基礎研究を継続している。一方、得られた基礎的研究成果を応用し、安全な診断抗原を開発し、疫学的研究に応用している。

#### 業績：審査付英文原著論文：186 篇

##### 主な発表論文（主要 5 点）

1. Koma, T., Yoshimatsu, K., Pini, N., Safronetz, D., Taruishi, M., Levis, S., Endo, R., Shimizu, K., Yasuda, SP., Ebihara, H., Feldmann, H., Enria, D., Arikawa, J. 2011. Truncated hantavirus nucleocapsid proteins for serotyping Sin Nombre, Andes, and Laguna Negra hantavirus infections in humans and rodents. *J. Clin. Microbiol.* 48:1635-1642.
2. Gamage, CD., Yasuda, SP., Nishio, S., Kularatne, SA., Weerakoon, K., Rajapakse, J., Nwafor-Okoli, C., Lee, RB., Obayashi, Y., Yoshimatsu, K., Arikawa, J., Tamashiro, H. 2011. Serological evidence of Thailand virus-related hantavirus infection among suspected leptospirosis patients in Kandy, Sri Lanka. *Jpn. J. Infect. Dis.* 64:72-75.
3. Shimizu, K., Li, C., Muramoto, Y., Yamada, S., Arikawa, J., Chen, H., Kawaoka, Y. 2011. The nucleoprotein and matrix protein segments of H5N1 influenza viruses are responsible for

- dominance in embryonated eggs. J. Gen. Virol. 92:1645-1649.
4. Li, TC., Yoshimatsu, K., Yasuda, SP., Arikawa, J., Koma, T., Kataoka, M., Ami, Y., Suzaki, Y., Mai, le. TQ., Hoa, NT., Yamashiro, T., Hasebe, F., Takeda, N., Wakita, T. 2011. Characterization of self-assembled virus-like particles of rat hepatitis E virus generated by recombinant baculoviruses. J. Gen. Virol. 92:2830-7283.
  5. Yasuda, SP., Yoshimatsu, K., Koma, T., Shimizu, K., Endo, R., Isozumi, R., Arikawa, J. 2012 : Application of truncated nucleocapsid protein (N) for serotyping ELISA of murinae-associated hantavirus infection in rats. J Vet Med Sci. 74(2) : 215-219.

受賞 :

平成 22 年 5 月 Joel Darlymple Memorial Lectureship Award (国際ハンタウイルス学会賞)

所属学会及び役職 :

日本ウイルス学会 (平成 24~28 年理事、平成 28 年第 64 回学術集会総会会長)、日本獣医学会 (平成 12 年~評議員)、日本実験動物医学会、日本実験動物学会 (平成 15~16 年理事、平成 30 年第 7 回実験動物科学シンポジウム大会長)、日本バイオセーフティ学会 (平成 28~31 年理事、平成 25 年第 13 回学術集会総会会長)、人と動物の共通感染症研究会、日米医学協力研究会ウイルス性疾患専門部会員 (平成 26~29 年部会長、平成 22 年第 44 回日米医学協力研究会ウイルス性疾患合同専門部会会長)、日中国際ウイルス学会 (平成 24 年第 9 回日中国際ウイルス学会大会長)、北海道実験動物研究会 (平成 15~29 年会長)、バイオメディカルサイエンス研究会北海道拠点 (平成 23~31 年北海道拠点長)

## 学内調査の権限等について

- バイオセーフティ管理監（以下「管理監」という。）については、「いつでも学内の役職員に対して業務に関する報告を求め、状況を調査することができる」権限を付与するとともに、学長が「管理監に対して、監査をしたことを理由として解任等の不利益な取扱いを行ってはならない」、「不利益な取扱いを行った役職員に対しては、処分を科すことができる」こととし、管理監が行う監査業務を担保することとしている。
- 上記の位置づけにも関わらず、学内の役職員が管理監による報告や調査に対して不誠実な対応（情報の改ざん、隠蔽等）をした場合には、国立大学法人法（平成 15 年法律第 112 号）、学内規定等に基づき、懲戒等の処分の対象になり得る。

### 【参考】

- ・ 国立大学法人法（平成 15 年法律第 112 号）  
（役員解任）  
第 17 条（略）  
2 文部科学大臣又は学長は、それぞれその任命に係る役員が次の各号のいずれかに該当するとき、その他役員たるに適しないと認めるときは、その役員を解任することができる。
  - 一（略）
  - 二 職務上の義務違反があるとき。3～5（略）
- ・ 長崎大学職員懲戒規程（平成 16 年規程第 44 号）  
（懲戒の事由）  
第 2 条 学長は、職員が次の各号のいずれかに該当する場合は、長崎大学人事委員会規則（平成 16 年規則）に定める人事委員会（以下「人事委員会」という。）の審議を経た後、これを懲戒することができる。
  - (1)・(2)（略）
  - (3) 故意又は重大な過失により本学に損害を与えたとき。
  - (4) 窃盗、横領、傷害等刑法犯に該当する行為があったとき。
  - (5) 本学の名誉若しくは信用を著しく傷つけたとき。
  - (6)～(9)（略）
  - (10) 規則、船員規則その他本学が定める諸規程に違反したとき又は前各号に準ずる重大な行為があったとき。





## これまでのリスクアセスメント等に基づく対応について

- 資料 1-2 から 1-4 までを用いてご説明させていただきます(前回会議終了後、神田委員及び寺井委員には資料 1-3 について内容をご確認いただきました)。